学校番号	1006

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ＩＡ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程[書き込み式]　ジュニア演習　数学Ｉ・Ａ　受験編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、数学Ⅰ・Aの内容の問題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「問題の意図を理解する → 問題を数式化する → 問題を解いてみる → 問題の解法を発表する → 解決の過程を振り返り周囲の解法と照らし合わせてよりよい解法を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題をまず自分で解いて解答を準備してください。答えだけではなく、相手に説明できるように途中式や考え方も添えて書くようにしましょう。答え合わせは、自分がどこまで理解しているかを知るための重要なものです。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などもノートに記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について、基本的な事項を理解する。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を次のように育成する。

（1）数学の計算法則や公式・定理についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深める。事象を数学的に理解し表現する技能を身につけ、基本的な計算ができる。
（2）日本語で表される具体的な事象からイメージし数式に変換して表現する力とその数式を処理する力、数式、図形やデータから分析する力を養う。問題を論理的に発表する力を身につける。
（3）決められた問題を自分のノートに解く習慣をつけるとともに、いろいろな解法を知ろうとする。数学のよさや美しさを認識し数学を活用しようとする態度と、種々の問題解決の過程を振り返り考察する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に表現･処理したりできる。公式･定理を覚えて、基本的な計算ができる技能が身についている。	問題を理解するために、問題から図を描いたり、数式化することでイメージができ、発表することができる。周りの発表を聞き、正誤が判断でき、自分の解答以外の解答も受け入れることができる。	さまざまな問題に対して意欲的に演習を行うことができる。自分自身が解いた問題の解法に対して、振り返ることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	式の展開・因数分解 根号を含む式の計算 1次不等式	a:因数分解の公式を用いて、因数分解ができる。1次不等式の性質を理解できる。基本計算ができ、値を正確に求めることができる。 b:自分の言葉で相手に伝わるように発表する。解法について正誤判断ができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
	集合と命題	集合と命題	a:集合と命題に関する基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身につけている。 b:必要条件・十分条件が判断でき、自分の言葉で相手に伝わるように発表する。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
	2次関数	2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式	a:2次関数のグラフが描くことができ、さまざまな問題に適応して数式化できる。2次方程式と2次不等式が解くことができる。 b:グラフを利用しながら問題を説明発表することができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
2学期	図形と計量	三角比 正弦定理・余弦定理 図形の計量	a:三角比の性質を利用して、問題を解き進められることを理解する。簡単な値を求めることができる。 b:正弦定理・余弦定理、三角形の面積公式を理解し、それを用いて平面図形や空間図形の計量を求め、発表することができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート

	データの分析	データの分析	a:データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、分散・標準偏差および相関関係などの知識を身につけている。 b:データを正しく読み取ることができる。自分の言葉で相手に伝わるように発表する。解法について正誤判断ができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
	場合の数と確率	場合の数、順列 組合せ 確率	a:順列と組合せを理解して問題を解くことができる。確率計算ができる。 b:順列と組合せの使い分けができ、自分の言葉で相手に伝わるように発表する。解法について正誤判断ができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。確率のおもしろさに対して興味を持つ。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
	図形の性質	平面図形 空間図形	a:種々の公式を理解し、平面図形の性質を理解して値を求めることができる。オイラーの多面体定理を利用できる。 b:自分の言葉で相手に伝わるように発表する。解法について正誤判断ができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート
3学期	数学と人間の活動	数学と人間の活動	a:素因数分解、不定方程式、ユークリッドの互除法を利用して、正確に問題を解くことができる。 b:自分の言葉で相手に伝わるように発表する。解法について正誤判断ができる。 c:問題に取り組み、授業に参加しようとする。他の解法を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度